



研修医・若手医師紹介

研修生活の振り返りと鳥取中部のいいところ紹介

鳥取県立厚生病院 初期研修医 吉田 翔 一



初めまして、鳥取県立厚生病院で初期研修をさせていただいている吉田翔一と申します。前半は研修の振り返りと個人的な目標について、後半は鳥取中部のい

いところを字数の許す限り書こうと思います。

私は岡山大学を卒業し、将来は岡山県の高梁市という人口2万人強の町で働きたいと考えています。高齢化の進行は岡山県内の自治体の中でも際立っており、そこに住む人々が安心して生活できる医療インフラの提供が課題になっています。潤沢なマンパワーに期待せずとも、ある程度自立して幅広くプライマリ・ケアを实践できる医師が必要とされているように思います。

倉吉市を中心とする鳥取県中部地域も類似の状況にあり、高齢化が進むにつれ社会基盤の維持がだんだん難しくなっていると思います。そのような環境で、厚生病院は中部地域最大の病院として、軽症から重症まで広く救急搬送を受け入れており、急性期病院の役割を果たすのに必然なのでしょう、チーム医療も当たり前のように行われています。

初期研修医もこのような実践的な環境下で勤務し、救急外来当番では指導医の先生と意見を交わしながら、walk inの患者さんも救急搬送の患者さんも自分で病態を評価し、アセスメントをする能力が鍛えられます。大学病院など大規模な総合病院と比べると提供困難な医療があることは否めませんが、commonな疾患はもちろん、criticalな疾患についても初期対応の機会は十分にあると思います。「うちで診られる疾患はきちんと診る、

うちの診療能力を超える疾患については早期に判断して基幹病院へ紹介する」という姿勢で学べることは自分の将来像と重なり、とても意義深いと感じています。

高齢化・過疎化が深刻になるにつれ社会が先細りになっていくことは避けられない事実ですが、だからと言って人々が安心して暮らせることを切り捨ててはならないはず。日々奮闘する先輩方の背中を追いかけながら、並んで走りいつかは自分が引張っていけるように、残り数か月となった研修期間で少しでも多く研鑽していきたいと思っています。

さて、ここからは中部地域のアピールを書くことにします。東部や西部に比べると人口が少なくあまり目立たない印象があるかもしれませんが、おもしろいものはたくさんあります。

まずは特産品の梨を挙げます。二十世紀梨のブランドである東郷梨や、甘みの強いなつひめ、新甘泉など青梨も赤梨も美味しい品種がたくさんあり、倉吉市には全国唯一であろう梨の博物館があります。楽しみながら地元の特産品に詳しくなるので友人が遊びにきたら必ず連れていきます。近くには新しく県立美術館が建設され、来年3月の開館を前に多様なプレオープンイベントが開かれています。

温泉も身近な名所です。三朝・はわい・東郷・関金と温泉街が4つあり、それぞれ倉吉市中心部から10km程度とアクセスもよいので、仕事終わりに気軽に入りに行くことができます。地元民向けの低い料金を設定している入浴施設もあります。

湯梨浜町の東郷池は一周12kmと手軽なサイクリングコースが整備されていて、サイクリストに優

しいお店がコース近くに点在しています。足湯に浸かったり、カフェで休憩したりしながら水辺の景色を楽しむことができます。

三朝町の三徳山三佛寺投入堂は「日本一危険な国宝」として知られており、断崖絶壁に立つ建築を川の向かいから眺めることができます。道なき道を進んで直接参拝することもできますが、時折怪我人が救急搬送されることもあり、危ないからやめておこうという気になります。

最近公開となった映画「八犬伝」の原作のモデルとなった里見忠義公はその晩年を倉吉で過ごしたとされ、倉吉市内の大岳院には忠義公と側近8人が祀られており、史実とフィクションの密接な関係を学べます。

北栄町は「名探偵コナン」で知られる漫画家の青山剛昌さんの出身地であり、由良駅周辺はコナンの世界が体験できるエリアとなっています。先日巨大迷路が惜しまれつつ閉幕となりましたが、

跡地に青山剛昌ふるさと館の移転計画があり今から楽しみです。

アニメでいえば、倉吉市は「ひなビタ♪」の舞台である倉野川市と全国初の架空都市との姉妹都市提携を結び、白壁土蔵群のレトロな町並みとポップカルチャーとの融合で観光活性化を目指しています。年間に何十回も倉吉を訪れるリピーターも少なくなく、毎月のようにイベントが企画されています。というよりも自分が毎月のように何かしらイベントを企画しています。地元の商店街の人達と一緒に地域おこしの活動ができるのもありがたいことだなと感じます。

以上、鳥取中部のいいところを列挙しましたが、これは1年半の間に自分が経験した範囲でありごく一部だと思います。人によって違ったいいところが見えると思いますので、一度遊びにきてみてください。

日本医師会女性医師バンク

日本医師会女性医師バンクは、就業を希望する医師に条件にあった医療機関を紹介し、勤務環境の調整を含め採用に至るまでの間の支援を行い、再就業後も様々なご相談に応じます。

日本医師会女性医師バンクの特色

- 無 料** 登録・紹介等、手数料は一切いただきません。
- 個別対応** 就業に関するご相談は、コーディネーター（医師）が、丁寧に対応いたします。
- 秘密厳守** ご登録いただいた情報は、適正に管理し、秘密は厳守いたします。
- 日本全国** 日本全国の医師、医療機関にご利用いただけます。（会員でない方も登録できます。）
- 予備登録** 今すぐに働く予定のない方もご登録いただけます。



ご連絡・お問い合わせ先 日本医師会女性医師バンク 中央センター
〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館B1
TEL 03-3942-6512 FAX 03-3942-7397